TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

信仰から繁栄へ

コロサイ人への基本事/秘義とエトス　コロサイ 4:2 以降

2025 年 2 月 22 日 & 23 日

ジェシー・セザリオ 牧師

礼拝をともにしている皆さん、TBC ウエストトウキョウ、TBC 三郷、スバおよびトンガバプテスト教会の皆さんに挨拶いたします。父なる神と主イエス・キリストの恵みと平安が皆さまにありますように！
祈りましょう。

はじめに

今日、メッセージシリーズ「信仰から繁栄へ」は終わりを迎えます。そして手紙の最後の章に焦点を当てます。
しかし、これは真に繁栄の終わりではありません。なぜなら今日のメッセージの中で、教会のために新しいことを紹介する予定だからです。
私たちがこれまでパウロの「コロサイの信徒への手紙」から学んできた概要をお話します。

第1章ではすべてイエスについてです：
私たちはこの御子において、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです（14 節）御子は、見えない神のかたちであり　すべてのものが造られる前に　最初に生まれた方です。（15 節）万物は御子によって、御子のために造られたのです（16 節）御子は万物よりも先におられ　万物は御子にあって成り立っています（17 節）御子はその体である教会の頭です（18 節）御子は初めの者　死者の中から最初に生まれた方です。（18 節）神は、御心のままに　満ち溢れるものを余すところなく御子の内に宿らせ（19 節）その十字架の血によって平和を打ち立て、万物をただ御子によって、御自分と和解させられました（20 節）

第 2 章では、信仰に反する 2 つの問題に対抗しています：
一つは世俗的な哲学であり、もう一つは罪の赦しのための宗教的な観察です。これらは必要ないのでしょうか？なぜでしょう？
「あなたがたはキリストにあって、手によらない割礼を受けました。それは肉の体を脱ぎ捨てること、すなわち、キリストの割礼です。」（11 節） これはもはや肉体の問題ではなく、霊に生きることについてです。霊に生きることによって、肉体の欲望に従う生活をやめるのです。

第 3 章では、神の霊的な民として生きる方法について教えています。
パウロの答えは、**「上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれないようにしなさい。」**

神の民として、私たちの新しいアイデンティティはすべての人種的、文化的、領土的な障壁を打ち破ります。ギリシャ人もユダヤ人もなく、割礼を受けた者も受けない者も関係ありません。キリストはすべてのものの中に存在し、すべてを満たすのです。
これは私たちが知っていることです。これは、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストについての知識です。そして、これは信仰によって私たちが信じていることです。

言い換えれば、周りの状況にかかわらず、私たちは主を礼拝するのです（第 3 章）。それが私たちに必要なすべてです（第 2 章）。なぜなら、主はすべての上におられることを知っているからです（第 1 章）。

そして今、私たちは個々に、家族と共に家庭で、教会で集団的に、そしてこの堕落した世界のどんな状況下でも、どこでも、いつでも彼を礼拝します―　私たちは彼を仰ぎ見て礼拝します。

今日は第 4 章で、パウロは手紙の最後の挨拶と署名の前に、さらに 2 つの指示を私たちに与えます。この 2 つの指示は、祈り方と歩み方についてです。
祈りは私たちがこの世界で神の御心が行われるようにと執り成しをする方法であり、私たちの歩みはこの世界に作用する方法であり、私たちの行いがこの世界で神の王国を象徴するものとなるのです。
このことを覚えていてください。
まずこの世界の外に目を向け、恵みの御座に向かって礼拝する習慣を持たなければ、この世界で正しく祈ることも、正しく歩むこともできないのです。

上にある御座は、私たちがこの地上で持つ力の源です。

歩み

私が 12 歳の頃、若かったころのウィル・スミス（当時はフレッシュ・プリンス）のヒット曲がよくラジオで流れていました。それは両親が子供を理解していないことについての曲でした。

曲の中で、彼は母親が彼の服を選んでいることに不満を持っていました。「俺の評判を台無しにしてるよ」と彼は母に言い、母は「お前はまだ 16 歳だ。評判なんてまだないよ」と返します。
私はその曲を何度も何度も、どこでも歌っていましたが、12 歳だった私は彼が何を言いたいのかわかりませんでした。評判って何？ぼくにはあるの？そして、彼と母親のどちらが正しいの？

その後、評判（レプ）とは他人があなたをどう見るか、どう評価するかを意味する言葉だと知りました。では、ある人の評判とはどうかと尋ねられたら、どう答えるでしょうか？

当時、私はその意味は人々があなたをかっこいいと思っているかどうかだと答えたでしょう。「評判」という言葉はラテン語に由来し、「他者からの評価」を意味します。これは、他者があなたを良い人として見るか悪い人として見るか、どのように評価・分類するかを反映しています。

ここでパウロは、私たちに異なる種類の評価を持つように指示しています。パウロは 5 節で言っています。
「時をよく用い、外部の人に対して知恵をもって振る舞いなさい。」
パウロは、知恵を持って歩むことで、私たちが他者に対しても賢くあるべきだと教えています。 これは世の知恵ではなく、生まれながらにして持っている知恵でもありません。これは、この世の外から来る知恵です。
ですから、パウロが私たちに望んでいる評価を得るためには、新たな「異なる」知恵を知る必要があります。聖書はこの「異なる」知恵についてこう言っています。
ヤコブ 3:17「しかし、上からの知恵は、何よりもまず、清いもので、さらに、平和、公正、従順なものです。また、憐れみと良い実りに満ち、偏見も偽善もありません。」

リビングバイブルではこう言っています。**「しかし、神からの知恵は純粋であり、平和とおだやかなやさしさに満ち、思いやりと良い実に満ちています。また、偏見や偽善がありません。平和をつくる人は、平和の種をまいて、義の実を結ばせるのです。」**

キリストの信者のみなさん、あなたがこのような評判を持っていると言われると思いますか？人々はあなたを純粋で静かな優しさに満ち、平和を愛し、礼儀正しい人だと言うでしょうか？ あなたは議論を許

し、他者に譲ることをいとわず、慈悲と善行に満ち、真心を持ち、率直で誠実な人でしょうか？
それはかなり高い基準のように思えるかもしれませんが、これが神の民として私たちが目指すべき評価なのです。

神の知恵にとは何だと思いますか？それはそれほど異質でも奇跡的でもないことに気づきましたか？

実際に、このように考えてみてください。
平和的であること、優しさ、譲ること、慈悲、与えること、公正さ、正直さが欠けていると感じるとき… 自分の肉体の欲望に従って行動してしまい、この態度は神を喜ばせないと精神的に感じるとき、あなたは玉座を仰ぎ見て、主に願い始めます。特に、自分で嫌だと感じるときには！
それ自体が奇跡です。

あなたは、しばしば対処に苦労する人々と向き合っているときに、彼らが決して変わらないと思ってしまうことがありますよね。しかし、そのような状況でも希望があることを知っておくべきです。なぜなら、あなたには執り成してくださるイエス・キリストがいて、父なる神の前であなたのために執り成しています。そして、イエスは御父に、あなたにそのような知恵を与えるよう願っています。
今まさに、イエス・キリストは私たちのためにそれを行っています。

神の子である皆さん、今この瞬間にも、この知恵のために御座に願う意思がありますか？
あなたのイエス・キリストを礼拝することこそが、このような知恵を得て、世界に打ち勝つ唯一の方法です。クリスチャンがこの世界の外を見上げることで、世界の中で違った行動ができるようになります。いつも失敗してしまうやり方とは違う行動を取ることができます。

これがあなたの賛美の力です！
歩みの中で失敗することに疲れましたか？ひどい行動を取ってしまったことに気づく瞬間に疲れましたか？もし今日でなかったなら、昨日か一昨日だったかもしれません。

そのような苦労を克服する方法を今知っていますか？答えは何でしょうか？ それは、上を見上げることです。

神の知恵を求めて上を見上げてください。上を見上げて、あなたの力が玉座から来ることを知ってください。そこには、イエスが父なる神の隣に座っておられます。今まさに、彼はあなたを見下ろしています。
恵みの玉座に座るその方を礼拝するということを知ってください！彼こそが、あなたがまだ罪人でありこれからも苦悩することを知りながらも、死んでくださった方です。

復讐はあなたの仕事ではないことを覚えていてください。神が復讐する、あなたではない、と御父は言っています。
代わりに聖書では、**「あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福するのであって、呪ってはなりません。」ローマ人への手紙 12:14**

今、「祝福」という言葉は文字通り「良いことを言う」という意味です。誰かを祝福するとき、あなたはその人に対してポジティブな言葉をかけることです。

パウロは 6 節でこう言っています。**「いつも、塩味の効いた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどのように答えるべきか、分かるでしょう。」**

私たちの言葉における恵みは、私たちの歩みと一致しています。行動は言葉よりも雄弁であることは確かですが、行動そのものは話しません。 誰かと直接やり取りする方法は私たちの口によるものであり、あなたの心にあるものはそれを通じて現れます。 キリストのような心は恵みに調和している心であり、私たちがまだ罪人であったときに彼が私たちのために死んだのと同じ恵みです。 他人に対する私たちの話し方は、主の恵みを備えている必要があります。あなたが思う恵みではありません。

パウロは「塩で味付けされる」という表現も加えています。塩は、平和に関するいくつかの節と密接に関連しています。塩は違いの間の調和を象徴しています。それは通常一緒に働かないものを一緒にまとめる方法です。まるで炒め物のように。 塩のない野菜の炒め物はあまり美味しくありません。なぜでしょうか？なぜなら、その料理の中に調和がないからです。

同様に、私たちの恵み深い言葉は塩で味付けされるべきです。塩は、対立する言葉が会話の一部であっても、私たちの言葉が会話を改善することを可能にします。 私たちの仕事は、世界中の誰とでも調和のとれた雰囲気を作り出すことです。 そうすれば、福音を共有する機会が得られたとき、彼らは聞くことを望むでしょう。

欺いたり、無礼だったり、批判的だったり、操作的だったり、攻撃的だったり、怒りを見せるような話し方をした後で、どうやって福音を共有することができるでしょうか？

呪う相手に祝福を返すことで、福音を伝える良い機会がどれほど増えるかご存知ですか？

パウロはまた、そのような時に、時をあがなうべきだと言っています。この節で使われている「あがなう」という言葉は、買い物や売買に関連しています。彼が言いたいのは、キリストを示すためにその瞬間を捉える最適な機会を見つけるべきだということです。

タイミングも重要な要素です。トレーダーの皆さんは、パウロが何を言っているのか正確に理解できるでしょう。市場を読むように空気を読む必要があります。そして、神に霊的なあがないのタイミングを明らかにしてもらうように祈るのです。

高低の変動は非常に神秘的です。トレーダーもこれを知っています。なぜなら、誰かがキリストに来るその瞬間こそが、霊的戦争の戦場だからです。我々が戦っているのは肉と血ではなく、目に見えるものでもありません！

もしあなたがキリストに似た者としての試験に合格したなら…もしあなたが他人に対して恵みを示し、言葉に塩で味付けをしたなら…その瞬間に彼らは武装解除されるでしょう。なぜなら、彼らの戦いはあなたに対してではなく、キリストに対してのものだからです。そして彼らはそれを知ることすらありません。その時、彼らはイエス・キリストに降伏する準備ができているかもしれません。

すぐにはそうならないかもしれませんが、その機会を逃さないようにしましょう。神の国はその瞬間に近くにあり、バランスが取られています。 これは信者同士でも同様です。別の信者から攻撃されていると感じた場合、恩恵をもって対応し、言葉を塩で味付けするならば、彼らは聖霊に従うことができるかもしれません。そして、もしそうならない場合、もし彼らが主に従わない場合、残されているのは祈りです。では、2 節を見てみましょう。パウロはこう言います。**「たゆまず祈りなさい。感謝のうちに、目を覚まして祈りなさい。」**

その節の並行箇所はエペソ人への手紙 6:18 であり、パウロはより詳細に書いています。彼らに、**「どのような時にも、霊によって祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。」**と言いました。

エペソ人への手紙の節から最初に指摘したい違いは、パウロが私たちは霊によって祈るべきだと言っていることです。繰り返しになりますが、私たちは礼拝の中で祈りを唱えるべきで、礼拝は重要であり、イエスと御父がおられる恵みの座に向かって行うべきです。

あなたは御座を賛美している中で、聖霊にあって祈っていますか、それともただ空気に対して発していますか？

私たちの祈りの一つ一つは、神の王国が来ること、そして神の御心が地上でも成されることを期待して捧げられるべきです。なぜなら、神は今、天で統治しているからです。私たちは、神の支配が私たちに代

わって介入することを願っています。これが天においても地においても、すでにある神の国の力を経験する方法です。

もう一つ重要な点は、パウロがどちらの手紙でも述べているように、私たちの祈りは絶えず続けるべきだということです。常に祈りに励むべきであり、そのことを怠ってはいけません。悪魔は止まることはないので、私たちも止めることはできません。覚えておいてください、この世で見ていることは、高次元で起こっている現実の低次元の反映に過ぎません。私たちは見えるものと戦っているのではありません。

エペソ人への手紙 6:11-12 では、「悪魔の策略に対して立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。私たちの戦いは、人間に対するものではなく、支配、権威、闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊に対するものだからです。」と述べています。

そして、この戦いで与えられた神の力と恵みが祈りです。そこでパウロはコロサイの人々に、目を覚まして祈りに注意を払うように指示しています。さらに、私たちは常に祈りの中にいる必要があることを強調しています。もし私たちが祈りに怠惰であるなら、不意を突かれることになるでしょう。

あなたはイエス・キリストの信者として、祈りにおいて目を覚ましていますか？祈りに存在する人としての評判を持っていますか？

あなたは目を覚ます必要があります！ これは、神の言葉が私たちに今語りかけていることです。私たちは目を覚まし、祈りに励む必要があります。
コロサイとエペソへの祈りに関する指示の違いの一つは、パウロがコロサイへの手紙で神の全ての武具について言及していないことです。しかし、パウロはこの新しい教会に最も基本的なことを伝えるとしたら、それはただ祈ることだと知っています。彼らは直面する霊的な戦いのために、祈りの家となる必要があります。

そして私たち TBC も同様に祈りにおいて団結する必要があります。本日、新しい TBC 祈りのミニストリーである CO42 を紹介させてください。この CO42 はコロサイ人への手紙 4:2 に基づいています。CO42 はまた、お互いのため(4:for)に集まって(2:to)祈ることを意味します。
この祈りのリストに祈りのリクエストを提出することができます… そうすれば、教会全体があなたのために祈ることができます。また、あなたのリクエストを誰に知らせるかを選択するオプションもあります。牧師、スタッフ、個々の祈りのチームメンバー、または全体のグループの中から選べます。

祈りのリクエストは https://t-b-c.us/co42 にアクセスするか、アウトラインの QR コードを使用して提出できます。祈りのチームにサインアップして参加したい場合、TBC のメンバーは https://t-b-c.us/co42tm でそれができます。週に一度、牧師チームの誰かがリクエストを全体のチームに転送します。

祈りのチームに参加しませんか？101 クラスでは、すべての TBC メンバーが契約書に署名し、その契約書で教会を築くために祈ることを誓いました。あなたの協力が必要です！サインアップして、TBC を祈りの家としての評判を築きましょう！ メンバーでない方も、このチームが祈りを続けるための力と注意力を持つように祈ってください。

結論

チーム

パウロが 7 節から章の終わりまでの結びの言葉で言及しているのは次の通りです。「彼は主にあって愛する兄弟、忠実に仕える者、テキコ。フィレモンに言及されている奴隷オネシモも、忠実で愛される兄弟です。アリスタルコ、マルコ、そしてユストと呼ばれるイエス。彼らはユダヤ人で神の国のために共に働き、パウロにとって慰めとなった人々です。あなた方の一人キリストの僕エパフラス、彼はいつもあなた方のために熱心に祈っています。愛する医者ルカとデマスがあなた方によろしくと言っています。彼らのミニストリーには言及されていませんが、私たちはルカが何をしたのか知っていますし、現在彼の手紙を持っています。ニンファと彼の家にある教会。アルキッポには、「主にあって受けた務めを、注意してよく果たすように」

パウロのミニストリーチームがアジア小アジアに到達するためにどれほど大きいか、そしてそれぞれが異なる役割を持っているかに注目してください。どうやってパウロが拘束されている間に物事を成し遂げることができるのでしょうか。

テキコとオネシモが教会を訪れて、彼らを励まし成長させる様子を想像できます。アリスタルコ、マルコ、そしてユストと呼ばれるイエスがパウロと一緒にヘブライ聖書を学んでいる場面も思い浮かびます。おそらく彼らは、ユダヤ人の離散コミュニティに対しても備えをしているのでしょう。
エパフラスは彼らの仲間であり、教会が成長するように熱心に祈っている人物です。ルカはパウロの健康を支え、その病気を治療するために奉仕しており、他の病気の人々のケアも行っています。ニンファは自宅で教会を運営しています。アルキッポはラオディキアでフルタイムの奉仕に従事しようとしています。

彼ら全員が特別な役割を持っています。TBC のミニストリーにおけるあなたの役割は何ですか？コロサイのために祈るエパフラスのように、TBC のために祈るようにお願いしている一方で、あなたは教会のビジョンにおいて異なる役割を持っているかもしれません。

実際、この「ビジョン」という言葉は正確ではないかもしれませんが、意図的に使用しているので意味が通じると思います。夢とビジョンの違いを知っていますか？夢は実現するかどうかが不確定ですが、ビジョンは実現する可能性が少しだけ高いですが、それでもまだ夢に過ぎません。

パウロにとって、それは夢でもビジョンでもなく、彼はそれを秘義と呼んでいます。3 節「同時に、私たちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、私たちがキリストの秘義を語ることができますように。」

パウロは彼の手紙で 21 回「秘義」または「ミステリオン(ギリシャ語)」という言葉を使っています。そして、彼は毎回それを神の未来の王国に関連して使用しています。しかし、彼は王国の既に存在する特徴と未来の側面についても話す必要があります。

夢やビジョンとこの秘義の違いを見てください。この秘義は単なる希望や願いではなく、それは真実であり、必ずやってくるものです。

エペソ 3 章は、彼に明かされた秘義についてかなり具体的に述べています。

彼は 6 節で「すなわち、異邦人が福音により、キリスト・イエスにあって、共に相続する者、共に同じ体に属する者、共に約束にあずかる者となるということです。」と言っています。

しかし、それだけではありません。彼はコロサイ 1 章に似て、キリストが誰であるかについても話し続けています。エペソ 3:9 では「すべてのものを造られた神の内に永遠の昔から隠されていた秘義の計画がどのようなものであるかを、すべての人に明らかにするためです。」と述べています。

彼はさらにこう言います。10-11 節「こうして、神の豊かな知恵が、今や教会を通して天上の支配や権威に知らされるようになったのですが、これは、神が私たちの主キリスト・イエスにおいて実現してくださった永遠の計画に沿うものです。」
パウロが秘義について使う壮大な言葉に耳を傾けてください！
彼は、イエスの中で神がすべてのもの、人々を含むすべてを創造されたと言っています。そして、時代を通じて、私たちは人種や宗教を形成しました。そして私たちは、その境界の中にとどまり続けました。しかし、今や、私たちは誰であれ、どこから来たとしても、どんな罪を犯

したとしても、神の民とみなされます。全世界が信仰によって永遠の命を得て、王国に入ることができるのです。ただし、パウロは 12 節で私たちに秘義を示す意図を伝えています。そしてそれは微妙で見逃してしまうかもしれません！

イエス・キリストが万物に対して持つ全能の力は、私たちにとって何がそんなに素晴らしいのでしょうか？ なぜ私たちはそれを気にする必要があるのでしょうか？

エペソ 3:12 では「キリストにあって、私たちは、キリストの真実により、確信をもって、堂々と神に近づくことができます。」と言っています。
パウロが私たちに教えていることは、父から与えられたイエス・キリストの力についてです。私たちが礼拝するイエスについての全ては、祈りに関することです！
秘義はイエスだけではなく、あなたと彼の愛、そして霊におけるあなたの力に関するものでもあります。

信者の皆さん、私たちはキリストの花嫁です。彼の愛の対象であり、私たちはいつでも彼に必要なことを求めることができます。
これが神の子供としての祝福です！
私たちは、玉座におられる主に、常に聖霊にあって祈り、主の愛、主の力を受け取り、心を失わないようにしましょう。
私たちは神の民としてこの評判を得る必要があります。
「エトス（Ethos）」は文化の精神を表す言葉であり、「評判（Reputation）」よりも格調高く、より適切な表現です。
したがって、今日から、神の王国の市民である者として、祈りを私たちのエトスとしましょう。

招き

あなたは人生で無力さを感じたことがありますか？ それなら、全ての力を持っている方を頼ってください。あなたはどうしようもないと感じたことがありますか？ それなら、救ってくださる方を求めてください。あなたは希望を失ったことがありますか？ それなら、答えである方のところに行ってください。あなたは神を感じられないときは、その御霊を与えてくださる方のところに行きなさい。

招待します。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」（ヨハネ 3:16）
主を信じてください。そうすればあなたの希望は夢ではなく、真実となるでしょう。
イエスの名を呼び求めてください。そうすれば救われるでしょう！
祈りましょう。

ジェシー・マーク・セザリオ
東京バプテスト教会
2025 年 2 月 22 日&23 日

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0925jp

★クラス 402
キリストの伝え方
3 月 2 日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 201
霊的に成長するために
3 月 9 日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu